

## 市の財政状況を勉強

～平成19年度議員研修会～

11月15日(木)、市民会館で『議員研修会』（登別市議会議員会主催）が行われ、市議会議員や市職員、市民ら約100人が参加しました。

この研修会は、奈良女子大学名誉教授の澤井勝（さわい かつら）さんを講師に迎え、『財政破綻の予防策～計画行政と財政見直し』をテーマに開催されました。

研修会では、今後の行財政のあり方や市民と議会の関わり方などについての基調講演が行われたほか、登別市の財政資料の分析を基に、まちづくりの課題とその対応策などが提言されました。

基調講演では、「過去の財政破綻に陥った例をみると、事業のチェックができなかった議会にも問題がある」と、議会の重要性をあげ、「そのためには財政状況の積極的な情報公開が必要だ」と話していました。



## これからの食事をMy箸で

～子ども自然博士講座『ものづくり編』～



12月8日(土)・9日(日)に1泊2日で、子ども自然博士講座『ものづくり編』（NPO法人モモンガくらぶ主催）がふおれすと鉱山で行われ、11人が参加しました。

8日(土)は、木工デザイナーの煙山泰子（けいざん たいこ）さんを講師に迎え、『My箸』作りに挑戦。はじめに、北海道を代表するイチイやエンジュ、サクラ、センの木の中から好きな木を選んで作業を開始しました。

参加者は、煙山さんから「理想的な箸の長さは、親指と人差し指を直角に広げた長さの1.5倍です。木には木目があるので、削りづらくなったときは角度を変えるといいですよ」などとアドバイスを受け、木に印を付けてから黙々と木を削っていました。箸の形ができると電気ペンで名前や模様を書き、最後に食用油を塗って完成。参加者は、この箸で早速夕食をいただいていた。

9日(日)は、飾りや小皿にも使える『なんでもプレート』を作りました。

## 新しい医療制度が始まります

～後期高齢者医療制度説明会～

11月15日(木)から21日(水)まで、市内8会場で『後期高齢者医療制度説明会』（市主催）が開かれ、262人が参加しました。

この説明会は、これまで国民健康保険や健康保険組合などの医療保険に加入しながら『老人保健制度』で医療を受けていた75歳（一定の障がいのある65歳）以上の方が、平成20年4月からは、新たにできる『後期高齢者医療制度』で医療を受けることに伴い開催されたものです。

説明会では、市の担当者が現行の老人保健制度との変更点や保険料の概算について説明。参加者からは、「自分だけが後期高齢者医療制度へ移行になるが、残りの家族はどうなるのか。保険料などの負担は変わらないのか」といった質問などがありました。

